

平成23年9月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



鷹山宇一 ㊦「白瓷鳳口瓶」 ㊧「波夷羅大将」

(ともに、於東京国立博物館、1955年、紙/鉛筆・色鉛筆・水彩)

50代までの間、自らの研鑽の場として「デッサン」を欠かさなかったという鷹山宇一47才の模写です。沢山の国宝、重要文化財が收藏される東京国立博物館のホームページをのぞくと、その「名品ギャラリー」におそらくこれかな：鷹山宇一も見て、感じて、模写をしたこの2点が画像つきで紹介されています。ともに重文。貴重な資料です。

「白瓷鳳口瓶」は「白磁鳳首瓶」(はくじほうしゅへい)の名で、中国・唐の時代の白磁を代表する優品として紹介されています。鳳凰の頭部をかたどった口(首)を持つことからこのように呼ばれているのでしょう。「波夷羅大将(はいらたいしょう)」は鎌倉時代の木造彫刻で、もともとは京都の浄瑠璃寺のものとか。「十二神将立像 辰神(じゅうにしんしょうりゅうぞう しんしん)」の名で検索されます。薬師如来そして薬師経を信仰する者を守護する12体の武神が十二神将で、薬師如来の12の大願に応じて、それぞれが昼夜の12の時、12の月、または12の方角を守るとされ、そのため十二支があてられているといえます。「辰」「波夷羅大将」です。

美術制作の場面で、模写は今も昔も基本の修行であり、新たな創造を生み出す原点でもあります。「学ぶ」と「真似ぶ」が同源の如く、単にそっくりそのまま複製する、というのではなく、作者の意図を体感・理解すること、精神性やそのものから発する「内なる美」をどのように受け止め表現するかに重きをなしているように思います。

すでに47才、いえ、まだまだ47才なのでしょうが、画学生のような探求心と真摯な心で芸術と向き合いながら、良いもの美しいものを見極める「審美眼」を鍛える、鷹山宇一の「絵描き魂」を覗わせる逸品です。

(学芸員)

鷹山宇一記念美術館・寺山修司記念館・十和田市現代美術館
 三館連携事業「あおもりアートぐれっとバス」
 土・日・祝日は、シャトルバス運行



七戸十和田駅で待機中のシャトルバス
 道の駅「しちのへ」と9月開業「イオン七戸ショッ
 ピングセンター」の相乗効果で賑わいを期待！

○料 金 大人： 1000円
 大学生： 800円
 高校生： 500円

○有効期限：2011年10月30日まで
 ・各館1回、複数日で使用可
 ・シャトルバス乗車可
 (土・日・祝日運行)

○販売所：各館及びローソン、フ
 ァミリーマート、セブ
 ンイレブン、サークル
 Kサンクス各店

深まる秋のひとときを東北新幹線・七戸十和田
 駅開業記念「あおもりアートぐれっとバス」(主催・
 3館連携ネットワーク実行委員会)を利用し、各館で開
 催中の特別展、企画展を鑑賞されてはいかががでし
 ようか

特別展・企画展の紹介

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| ○七戸町立鷹山宇一記念美術館
・9月23日(金)～10月30日(日) | 電話：0176-62-5858
「平山郁夫展」 |
| ○三沢市寺山修司記念館
・7月30日(土)～11月27日(日) | 電話：0176-59-3434
「宇野亜喜良展」 |
| ○十和田市現代美術館
・9月10日(土)～2012年1月9日(月) | 電話：0176-20-1127
「加藤久仁生展」 |

友の会に入会して程なく、早速の研
 修旅行に夫婦で参加しました。
 当日の朝は、霧雨が降り、肌寒さ
 え感じるあいにくの空模様。少々恨め
 しく思いつつも、七戸町を出て暫くす
 ると、青空が覗く、爽やかな天気の様
 変わり、「晴れ女」。家内は、自他共に認
 める「晴れ女」。降水確率70%など
 という残念な予報ですら、旅先では見
 事に予報を裏切ってくれるほど。
 初めて訪れた青森県立美術館を目的
 前にして、心が躍る。そもそも、印象
 派とは何か？鑑賞前に、初めてお目
 にかかると鷹山館長さんより、初めて登
 場した当初の時代背景や歴史に触れ
 お話を伺い、まるっきり勉強不足で
 加耳した私は、反省しながら興味深
 く少し深めた。印象派に鑑賞！理解
 名画誕生の裏には、どんな謎が隠され
 いるのか、興味津々。
 中々、一番印象に残った作品は、
 「縫い物をするジャン・ルノワール」
 幼いながらも一生懸命に縫い物を
 姿が非常に愛らしく、あどけいな情
 がとても微笑ましく、息子のジャン
 モデルにしたとは意外だが、この作
 で調査されたのは、その上から一度
 絵の具を削ったこと、その上から一
 した箇所を削ったこと、試行錯誤を
 十箇所の箇所を削ったこと、試行錯
 した箇所を削ったこと、試行錯誤を
 余談で、黒柳の徹子さんが来館され
 うも、この作品は、黒柳の徹子さんが
 く、この作品は、黒柳の徹子さんが

平成23年度友の会第1回研修旅行記
 光を描く 印象派展
 名画誕生の謎に興味津々
 七戸町 浅野雅司

感想をもたれたのか、湖畔の洗濯物
 ほうき、大きなセーター、洗ったか
 まい、運ばれた大きなセーター、洗
 戸外、謎が解明されたか、あ
 解、謎が解明されたか、あ
 ラ、謎が解明されたか、あ
 り、謎が解明されたか、あ
 肉、謎が解明されたか、あ
 道、謎が解明されたか、あ
 意、謎が解明されたか、あ
 欲、謎が解明されたか、あ
 な、謎が解明されたか、あ
 足、謎が解明されたか、あ
 味、謎が解明されたか、あ
 鑑、謎が解明されたか、あ
 食、謎が解明されたか、あ
 帰、謎が解明されたか、あ
 旅、謎が解明されたか、あ
 行、謎が解明されたか、あ
 提、謎が解明されたか、あ
 供、謎が解明されたか、あ
 目、謎が解明されたか、あ
 舌、謎が解明されたか、あ
 堪、謎が解明されたか、あ
 能、謎が解明されたか、あ
 初、謎が解明されたか、あ
 心、謎が解明されたか、あ
 一、謎が解明されたか、あ
 日、謎が解明されたか、あ
 待、謎が解明されたか、あ



鷹山ひばり県立美術館長を囲んで記念写真

■ 特別展のご案内

「平山郁夫展」次世代への伝言

9月23日(金)祝日 10月30日(日)迄

会期中無休

Information

- ▶ 入館時間 10:00-17:30(閉館18:00)
- ▶ 入館料
 - 一般 850(650)円
 - 学生 400(320)円
 - 小中学生 200(160)円
- * ()内は20名様以上の団体、県民カレッジ受講者、JAF会員、ご来館日当日有効のJR券ご提示の方割引料金。
- * 友の会会員は特典どおりご入館いただけます。
- * 「おももりアートくわっとび」がご利用いただけます。

看視ボランティア募集!

▶ 作品とお客様、快適な鑑賞空間を保守するお仕事です。ご興味がおありの方は美術館までお電話ください。
(☎0176-62-5858)



▲平山郁夫画伯
(平山郁夫シルクロード美術館提供)

公益財団法人平山郁夫美術館並びに青森放送株式会社とともに主催して、「平山郁夫展」を開催いたします。2009年12月2日、惜しまれつつ逝去された日本画壇の巨匠・平山郁夫画伯は、60余年に及ぶ画業はもとより多方面に活躍をされました。昭和5年、瀬戸内海に浮かぶ生口島(広島県瀬戸田町、現・尾道市瀬戸田町)に生まれた平山画伯は、その豊かな自然と穏やかな風土の中で多感な少年時代を過ごしました。美意識の礎を築き、豊かな感性を育んだ瀬戸内の風土は、いわば画伯の原点と言えます。一方で、広島に投下された原爆による凄惨な体験は、



▲特別出品「流沙浄土変」(紙本彩色、1976年、株式会社ジャパン・ヴィジュアル・アート・ギャラリー蔵)。平山郁夫画伯の代表作の一つ。カラバンの上空には三尊仏が、砂漠を往来する人々の安全を祈願するのように見守っています。

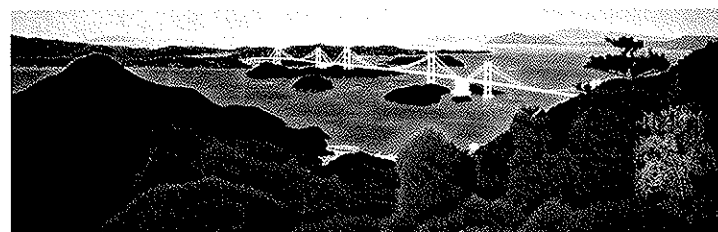
画伯を心身共に、生涯にわたって苦しめます。しかし、この被爆体験は、「平和」を希求する想いを揺るぎないものへと、後の代表作「仏教伝来」をはじめとする「シルクロード」の連作へと続く、平山芸術の出発点ともなりました。そして画伯の平和世界を望む心、それは歴史の生き証人である「遺跡」や「文化財」を守る活動「文化財赤十字構想」へと発展、諸外国との文化交流にも大きな貢献を果たされています。



▲特別出品「中尊寺一字金輪像」(本画、2000年、中尊寺蔵)。本年世界遺産への登録が決定した平泉、その文化遺産の一つ「中尊寺の一字金輪仏頂尊坐像」を描いたものです。奥州藤原氏三代秀衡の秘傳と伝えられ、ご開帳は不定期の秘仏です。

本展は、画伯の故郷に開設された公益財団法人平山郁夫美術館収蔵作品を中心に、特別出品を含む本画15点、素描、大下図等全70余点の作品により、画伯が絵に託して伝えようとした想いにせまります。日本画壇に重鎮をなした平山芸術を心ゆくまで堪能いただき、豊かな時間をお過ごしただけましたら幸いです。当館では平成11年の「世界の文化遺跡を描く」、平成13年の「薬師寺玄奘三蔵院大唐西域壁画完成記念」に

※本展会期中、「東日本大震災復興支援のための募金活動」を行います。ご協力をよろしくお願い申し上げます。



▲「天かける白い橋 瀬戸内しまなみ海道」(紙本彩色、2000年)。愛してやまない瀬戸内の風景を幅5.5mを越す大作に表現。橋は愛媛県の大島と今治を結ぶ来島海峡大橋。第85回院展出品。

●●●●●●●●●●
 秋の特別展のご案内
 ○●●●●●●●●●

11/3(木祝) ↓ 11/13(日)

第71回国際写真サロン展
 & まちかど美術館

国内では最も権威ある写真コンテストとして知られる国際写真サロン。国内外、プロ・アマチュア問わず、写真表現の可能性に挑戦した作品を広く募集、今回も海外40カ国から4,954点、国内から3,676点、総計8,630点の応募がありました。その中から、審査委員特別賞6点を含む入賞作品全130点をご紹介します。

芸術的な写真が対象で、合成・加工も認められている写真サロンでは、そ



▲第71回国際写真サロン審査委員特別賞受賞

- ① VUONG TRI KIET (カナダ) 「COMMUNICATION」
- ② 沼島専也(大阪府) 「未来の乱舞」

●国際写真加展入館料●
 一般600(480)円、学生300(240)円、
 小中学生100(80)円 ※()内は20名様以上の団体、単員が1名以上、JAF会員割引料金。
 友の会会員は特典とおりご入館いただけます

れだけに想像力、構成力、アイデアを駆使した写真が多数寄せられます。近年ではデジタル写真が急増、加工したのもも多く出品されています。そのような中で審査委員の皆さんの目を惹くのは、「新鮮なアイデア」、そして、「表現内容のしつかりした見る人の心をつつ作品」であると言えます。

「国際写真サロン展」では、私たちの生活の今一番身近にあるアート、「写真芸術」の現在、多彩な表現と「写真美」をご体感いただけます。

また本年「国際写真サロン展」開催に連動して、当館では町内の保育園幼稚園の5歳児さんを対象に、「七戸の好きなところ」をテーマに写真で表現していただく「まちかど美術館」を開催します。作品を七戸町の協力店舗に展示して、七戸をご紹介しますながら、町の魅力を再確認しようというものです。素直な心と豊かな感性の持ち主、子どもたちの作品に乞うご期待！

11/20(日) ↓ 2012 1/22(日)

第11回鷹山賞児童作品展
 & 地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展

鷹山賞児童作品展応募締切の季節を迎え、寄せられる作品数も一気に増えて参りました。今年はどうな作品に出会えるのだろうか？ワクワクの心とともに、審査会に向けての準備を進めております。

第11回展を迎えるにあたって感慨もひとしおです。第1回展で小学1年生だった子どもたちが、今やもう立派な18才のイケメン、ギャルたちに変身しているかと思うと、時間とは長いのか短いのか？複雑ではありますが、また1回展から新たに始める心持ちで、今後進化、深化しながら継続していきたいなと思うしております。地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展とともに11年、引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



▶第11回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展「地球環境特別賞」
 鈴木千尋さん(千葉県、中学校2年、13歳)

○●●●●●●●●●● I & YOU frank miscellaneous notes

わがまま雑記●●●

こどもが「夏休み」を頂戴する年になり、どのように「過」すか：課題に挑むこととなりました。

夏休み前は、はじめての小学校生活、その1学期分の心身の疲れをとれたら良いかな、ぐらいに考えていましたが、こどもは休みとなれば元気現金なもの。自堕落な生活にならないよう注意しながら、「息子よ、宿題は毎日何かしらやれよ」と発破をかけて仕事に出掛けました。

自宅で「過」すこと以外にも、児童館の企画で三内丸山遺跡や水族館へ連れて行ってもらったり、短期水泳教室へ通ったり、お祭りの太鼓の練習に参加したり…：こういった受入先があるということは、こどもはもちろん共働きの私にとっても有難い限りでした。当館でも、幼児や1年生から参加できる夏休み特別工作やアートツアーをはじめ企画しましたが、低学年のこどもが意外に沢山参加しました。大人の手や目が必要な年頃のこともおさ、彼らが安心して過ごせる地域社会の受皿が必要なのだ実感しました。

真つ黒に日焼けした息子の背中を見ていると、夏休みの思い出の分だけ逞しく成長したように感じられます。受け入れてくださった多くの方々に感謝！なりました。

美術館 ●○○●●
 ワークショップ ●○○●●
 ものづくり教室 ●○○●●
 美術館あ〜っと!くらぶ
 「アートはおもてなし」
 ものづくり体験講座

■「美術館あ〜っと!くらぶ」

今回は、7月31日に開催した「なんちゃってステンドグラスづくり」の様子をご紹介します。

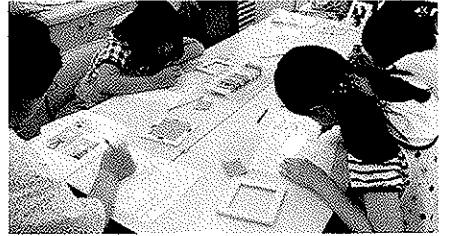
自然の光を美しく変化させるステンドグラス。当館では、(池内康)氏の遺作となるステンドグラス作品を常時鑑賞することができます。

小学校の図工の教科書の中でも、光と影を教材として取り上げています。それも踏まえ、夏休みに合わせて今回の活動を企画しました。

まずは、本物のステンドグラスを見ながら、図柄や色づかいの特徴をお勉強。気に入った



作品を参考に、自分がつくりたい作品のイメージを固めます。工房に戻ってすぐに下絵を作成、



の業!ではどうすればいいの?そこに「なんちゃって」の所以があります。

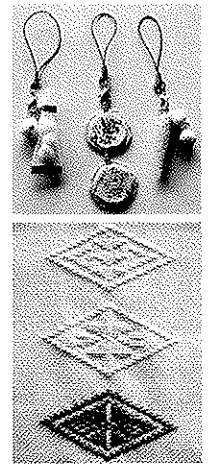
今回使用する材料は、『ガラス絵の具』と『フォトフレーム』。どちらも百円ショップでそろえることができます。ガラスのカット等、難しい作業は一切しません。

下絵をガラスの下に置き、黒色の『ガラス絵の具』で輪郭を描いていきます。15分ほど乾かしたら、好みの色の『ガラス絵の具』をたっぷりとのせていきま。あとは1〜2日間乾かすだけ。不思議なことに、しつかり乾くと絵の具が透明になり、まるでガラスのようになります。ご家庭でも簡単に制作できるこちらの作品。インテリアにもぴったりますよ!!



■「アートでおもてなし」
 ものづくり体験講座

3日前までのお申込みでどなたでも気軽に体験できるこちらの教室。今年度に入り、旅行の記念に、子どもとの工作の時間に、おそろいのアクセサリーづくりにと、幅広くご利用いただいております。



- ①ご当地ストラップづくり
- ②南部菱刺し体験
- ③木版画制作
- ④シルバークセサリーづくり
- ⑤手作りプチアルバム制作

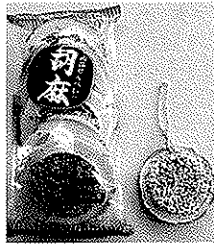
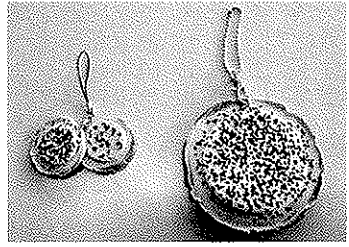
と、うちの講座を用意しておりますが、ダントツの人気はやはり、「ご当地ストラップづくり」。

リアルな「南部せんべい」と「にんにく」のストラップを制作できます。どちらとも手のひらにおさまるミニチュアサ

イズで用意してありましたが、このほど「南部せんべい」については、実物大での制作も可能となりました!!

それがこちら→

本物とも比べてみましよう。ゴマももちろん粘土製です。全てご自分で制作していただきますので、世界に1枚だけの「南部せんべい」ができますよ!! 絵の具の塗り加減でリアルさが倍増しますので、意外や意外、入り込んだら抜け出せない奥深い世界です。フェイクなプレゼントにいかがでしょうか。



- 費用：お一人様二千円(入館料込)
- 定員：一日ひと組5名様まで
- (小学校3年生未満は保護者同伴)
- 時間：10時〜13時 / 14時〜17時
- 申込み：体験希望日の3日前までにご連絡ください

ただし、当館2F工房が使用できる日に限ります。お客様のご希望にお応えできない場合もございますので、ご了承ください。

美術館誌 pickup

【6月】

▼3日(金)10日(金)15日(水)

七戸町立榎林中学校生徒の皆さんが学年ごとにご来館、「パレットと絵画展」を鑑賞。皆さん礼儀正しく、素直で真摯な鑑賞姿勢がとても印象的でした。引率の先生の指導が生徒に表されていたように感じました。

▼11日(土)

八戸工業大学第二高等学校美術コースの生徒の皆さん総勢69名、引率の先生5名様が「パレットと絵画展」を鑑賞。特別展もさることながら鷹山宇一作品にも感動一の様子。「宇一先生の絵ヤバイ」と敬愛の念が込められた女子の皆さんのツブヤキを耳にし、嬉しい気持ちになりました。同日、友の会総会が開催されました。鷹山絵画購入のための寄付金を友の会から頂戴しました。有り難うございます。

▼14日(火)

「パレットと絵画展」入館者が5千人に。5千人目のお客様は、東日本大震災で大きな被害に見舞われた岩手県宮古市からお出掛けくださった三浦久美子さん。花束と画集を贈呈させていただきました。「気分転

換を」と、八戸市在住のご友人が誘ってくださったのだそうです。当館の展覧会が心の平安に少しでもお役にたてたならうれしい限りです。

▼26日(日)

「パレットと絵画展」最終日。未曾有の東日本大震災により開催も危ぶまれた本展でしたが、会期を延期変更して無事に終了することが出来ました。6,590人も多くのの方々のご来館をいただきました。

▼27日(月)〜7月2日(土)

展示替え休館。長期間当館の壁面を飾っていた作品たちともついに別れの時です。無事にご返却出来たことにホッとするとともに、名残惜しい寂しさも…。7月3日からは鷹山宇一と七戸ゆかりの画家たちの作品を展示。当館ならではの風景がカムバックです。

【7月】

▼20日(土)

「第15回あおもり映画祭七戸会場」として当館が活用されました。「けの汁」「俺たちの未来」2本のショートムービーを午前と午後1回ずつ上映。心を打つ美しい映画「けの汁」。しかも短い時間にあれだけの内容を盛り込んで表現できるなんてさすがです。是非もっともっと沢山の方に見ていただきたい映画です。同日夕方から、「北村哲朗(バリトン歌手)内藤敏子(ギター奏者)演奏会」が開催されました。

▼6日(水)

青森県立郷土館の對馬恵美子さん、本田伸さんが作品借用のためご来館。郷土館地域総合展「十和田湖八甲田山」展示作品として、見町観音堂と小田子不動堂からお預かりしている南部小絵馬や羽子板、そして鳥谷幡山の掛軸等をお貸し出しました。

▼16日(土)

十和田市現代美術館、三沢市寺山修司記念館との3館連携事業として、共通入館パス「あおもりアートぐれつとパス」と土日祝日運行の無料シャトルバス運行事業がはじまりました。セレモニー終了後、友の会会員の皆さんを対象としたモニターツアーも実施。1日で3館を巡る体験ツアーはなかなか好評で、特に寺山修司記念館にお手配いただいた美味いお弁当、そして寺山修司文学碑周辺の趣ある散策コースなど、新たな魅力の発見となったようです。

▼30日(土)

夏休み特別企画として子どもと大人を対象としたアートツアーを開催、ぐれつとパスとシャトルを利用して寺山↓現美へ出掛けました。寺山のフェスティバル「夏」では木のおもちゃに子どもたちも大はしゃぎ。現美の作品解説付き鑑賞ツアーではみな探検隊の様相で意外?にも神妙に作品鑑賞!と盛り沢山の一日を過ごしました。

▼31日(日)

七戸町民の皆さんを対象とした鷹

山美術館無料招待日。8月1日の開館記念日に毎年恒例のご招待も、今年度は月曜休館日のため前倒しして日曜日に行いました。

【8月】

▼5日(金)

「南部藩児童交流事業」に参加の岩手県遠野市と七戸町の小学6年生43名の皆さんが当館絵馬館を中心に作品を鑑賞。交流を深めながら「南部藩」という絆で結ばれた古くからの仲間であった歴史に触れました。毎年恒例のことながら猛暑一でした。

▼6日(土)

夏休み特別企画として小学生対象の工作教室「光の箱を作ろう」を開催。初企画初講師の当館スタッフ織川が奮闘、真夏の光をアートに変える素敵な箱が完成しました。

▼19日(金)

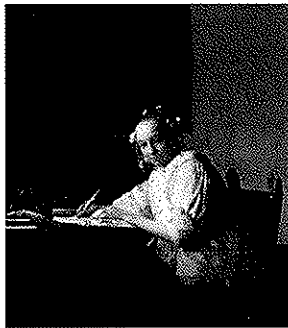
「願い叶う絵馬の町パワースポーツ巡りモニターツアー」が行われました。霊験あらたかな町内の寺社仏閣を電動自転車で巡り絵馬を奉納しながら町散策&観光資源に活用しようというもの。青森公立大の学生さんが絵馬館を訪れ、見町観音堂小田子不動堂の南部小絵馬を鑑賞、絵馬について学習しました。

▼27日(土)

県立郷土館「十和田湖八甲田山展」鑑賞と八甲田の魅力を再発見・実体験していただく「アートツアー」を実施しました。

「フェルメールからのラブレター展」

「手紙を読む青衣の女」
ヨハネス・フェルメール作
アムステルダム国立美術館蔵
【修復後世界初公開】



「手紙を書く女」
ヨハネス・フェルメール



「手紙を書く女と召使い」
ヨハネス・フェルメール

平成23年度第2回友の会研修旅行をご案内します。
宮城県立美術館開館30周年記念「フェルメールからのラブレター展」を鑑賞します。

世界に30数点しか存在しないオランダ17世紀絵画の巨匠ヨハネス・フェルメールの作品が3点一挙に公開されます。

フェルメール作品の中でも日本初公開の「手紙を読む青衣の女」は、この度入念な修復を終えて本来の美しさをよみがえらせ、本国に先駆けて世界で初公開されます。

皆様のご参加をお待ちしております。

- 研修先 宮城県立美術館
- 日時 平成23年11月20日(日) 日帰り
- 募集人員 先着 30名(最小催行人員10名)
- 参加費用 18,000円(入館料、昼食費、交通費含む)
(JR東北新幹線で往復します)
- 集合場所 JR七戸・十和田駅ほか
- 募集締切 平成23年10月20日(木)(但し、定員になり次第締め切ります。申込はお早めに!)
- 詳細日程は、後日参加者にお知らせします。
- お申し込み・問い合わせ先: 鷹山宇一記念美術館
- 電話 0176(62)5858

友の会会員登録の更新と 新規会員登録をお誘いのご願い

平素から会員の皆様には友の会運営に多大なお力添えをいただき誠に有り難う御座います。今後とも鷹山宇一記念美術館の応援をよろしくお願ひ申し上げます。友の会では会員の皆様方に芸術・文化に一層親しんでいただけるよう研修旅行・講演会等を企画し、微力ながら地域文化の振興に寄与していく所存でございます。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年々3回)
- ②海外美術館研修旅行(第5回海外研修旅行 2012年4月 オランダ・ベルギー美術紀行)
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

- 年会費 3千円
- 個人
①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引き
- ②ミニシアターグッズ1割引き
- ③研修会・講演会への招待、優待
- ④他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤会報の配布

○特別会員

- 年会費 1万円
- 個人・法人
①一般会員特典に加えて
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

- 年会費 2万円
- 個人・法人
①一般会員特典に加えて
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇更新手続きは美術館窓口で随時行っております。詳しくは美術館までお問い合わせ下さい。

★会費について
のお知らせ

会費の納入は随時受け付けておりますが、10月1日以降に新規会員となった方は、翌々年の3月31日までの会費となります。

☆お便りをお待ちしています。

皆様の会報です。友の会へのご意見、ご要望、お便り、旅行記をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

編集後記

★秋本番、あおもりアートぐれつとパスで芸術の秋を堪能、秋の夜長は印象派展で購入した展覧会図録を読み、食欲の秋は七戸町内の手打ちそばを食べ歩いて楽しみたい。

★会報第64号をお届けします。

★研修旅行など、友の会事業へのご参加をお願いいたします。
(照井)

「ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」

日 程 表

- 1日目** 平成24年4月20日(金)
午後新幹線で出発→東京駅→成田へ [ホテル前泊]
- 2日目** 4月21日(土)
成田空港昼頃(ANA)ロンドン乗り継ぎ→アムステルダム着。専用バスにてホテルへ [アムステルダム泊]
- 3日目** 4月22日(日)
国立クレラー・ミュラー美術館、国立博物館、国立ゴッホ美術館・レンブラントの家など [アムステルダム泊]
- 4日目** 4月23日(月)
アムステルダム観光(跳ね橋、王宮外観、アンネの家等)「キューケンホフ公園」見学。 [ハーグ泊]
- 5日目** 4月24日(火)
ハーグ市立美術館 (テルフトの眺望、真珠の耳飾りの少女他)。キンデルダイクで風車を見学。 [アントワープ泊]
- 6日目** 4月25日(水)
ノートルダム大聖堂(世界遺産)等見学後、ケントの聖ハーフ大聖堂へ。ブルージュに移動。 [ブルージュ泊]
- 7日目** 4月26日(木)
ブルージュ→フルツセルへ。市内見学後タリス(高速鉄道)にてパリへ移動。 [パリ泊]
- 8日目** 4月27日(金)
夕方までフリータイム。夜、成田直行便にてパリ出発。 [機中泊]
- 9日目** 4月28日(土)
午後成田空港着→東京駅→新幹線で県内新幹線駅へ。



「ひまわり」ゴッホ
ファン・ゴッホ美術館



「夜のカフェエラス」ゴッホ
クレラー・ミュラー美術館

第5回海外研修旅行を平成24年4月出発の日程で再募集しております。

「ゴッホ・フェルメール・レンブラントを訪ねて」と題して巨匠の名画を堪能する「美術紀行」です。旅行日程は、平成24年4月20日から4月28日までの9日間です。

皆様のご参加をお待ちしております。

第1次募集締切 平成23年10月31日

説明会 平成24年1月中旬予定

募集人員 35名(最小催行人員20名)
ご旅行代金 393,000円
(燃油サーチャージは含みません)

友の会では海外研修旅行を計画しコース設定をする際、なるべく画家の作品の原風景を入れるようにしています。せっかく長い時間飛行機に乗って海外に出かけるのですから、画家が遠い昔、自分が今立っている地にいてみた景色を肌で感じ、その後美術館に行き作品を鑑賞します。



ジヴェルニー モネのアトリエ・日本庭園

先日、新幹線に乗って青森県立美術館「光を描く印象派展」に行ってきました。モネの睡蓮に会いたくて、鷹山宇一美術館友の会、海外研修旅行「南仏・パリ印象派を訪ねて」に参加した時ジヴェルニーのモネのアトリエで観た睡蓮の咲いた日本庭園がずっと心の中に残っています。

印象派を訪ねて

友の会副会長 奥山雅子

モネの睡蓮もその一つです。アトリエを後にしてパリのマルモッタナ美術館でたくさん睡蓮の作品に会いました。その感動はとも心に残るものです。この美術館には印象派の名前の由来になっているモネの「印象・日の出」が収蔵されています。その後オランダジュリー美術館でモネの最後の大作「睡蓮」を鑑賞しました。モネは晩年ほとんど目が見えなくなっていたからこの大作を仕上げたと聞きました。その作品達からあのジヴェルニーの庭園の風景と、お会いが強く迫ってきました。

次の日はルーブル美術館とオルセー美術館をのんびり鑑賞し、参加した皆様と有名な作品の前でたくさん記念写真を撮りました。海外の美術館はフラッシュ無しであれば撮影可のところが多いのでぜひおすすめ。



パリ・オルセー美術館